

『つれもてやろら！まちづくり』第4回ワークショップ 開催記録

『つれもてやろら！まちづくり』ワークショップの第4回会議が、平成15年8月7日(木)の午後6時より、和歌山市役所の14階大会議室において開催されました。

今回は、第2回ワークショップで設定した検討テーマ別に、新しいグループに分かれて、各グループのテーマに沿って今後どのように検討していくかを議論しました。その上で「第5回ワークショップ＝ぶらくり丁周辺のまち歩き・現地見学」の計画を各班で立てました。

【第4回ワークショップの内容】

グループ討議

今回より、前回までの議論で抽出された、ぶらくり丁周辺地区に関する4つのテーマ(核づくり・商店街活性化・暮らしづくり・情報発信)に基づく班に分かれて進められました。

検討テーマの深度化

- 今後、どのように検討していくのか？
- まちづくりの方向性(どのようなまちを目指すのか？)
- 何を重点的に検討し、提案していくのか？

検討テーマの深度化では、各チームごとに以下のような提案がなされました。

・ 核づくりチーム

ぶらくり丁の核となる施設は、経済効果が期待でき、気軽に行ける場所であることが望ましい。また、「買い物しやすい」、「高感度でおしゃれな雰囲気がある」、「機能が集積している」、「文化活動の拠点・公的機関となる」などが必要である。

・ 商店街活性化チーム

商店街を活性化するためには、「商店街の主役づくり・オーナーづくり」、「魅力ある人の存在」、「新陳代謝(ダメな店は出ていく)」などが重要である。

・ 暮らしづくりチーム

ぶらくり丁周辺はポテンシャルが高く住みやすいという利点を活かしつつ、都心部の生活の質の高さをPRしていくことが重要である。

・ 情報発信チーム

インターネット、ラジオ、ミニコミ紙、テレビ取材を通じ、重層性を持った多彩なシナリオで進めていくことが重要である。

本日の検討成果 [核づくりチーム](#) [商店街活性化チーム](#) [暮らしづくりチーム](#) [情報発信チーム](#)

【今後の予定】

第5回のワークショップ(8/30)では、今回各班ごとに立てた計画に基づいてぶらくり丁周辺のまち歩きに出かけます。

Web ページへ戻る